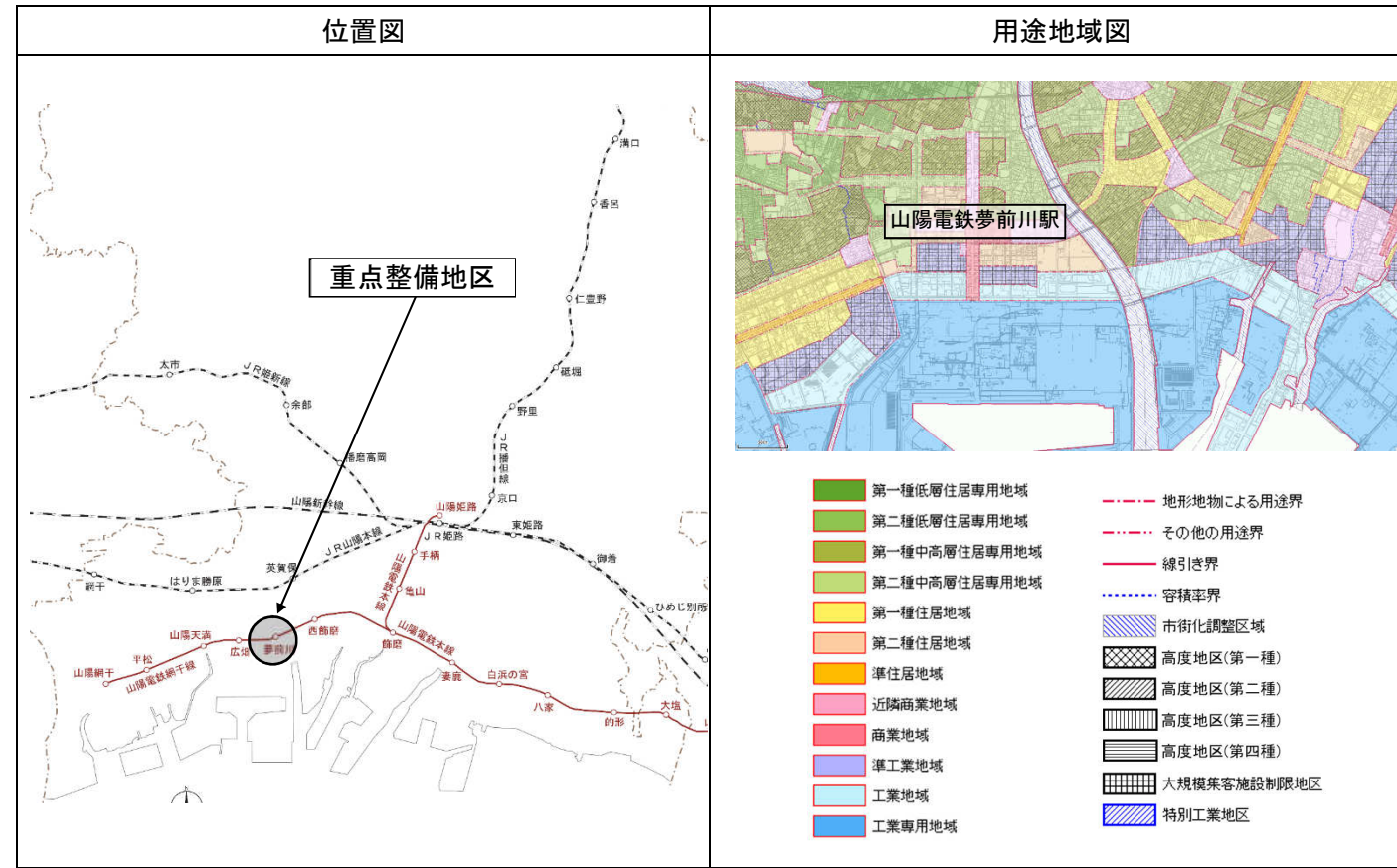


山陽電鉄夢前川駅周辺地区【概況】



地区特性

- 【データ】**
 (1) 山陽電鉄夢前川駅
 ① 1日平均乗降客数・1,762人/日（令和元年度）
 ② 駅の概要
 ・構造……………地上
 ・駅舎……………地上駅
 ・ホーム……………相対式2面2線
 ・改札口……………1
 ③ 自由通路
 ・南北自由通路（改札内通路に並行）

地区特性

- 【地区の特性】**
- 山陽電鉄夢前川駅は、1日当たり乗降客数1,762人（令和元年度（2019年度））であり、駅北側は住居系、駅南側は住居系及び工業系土地利用となっている。
 - 駅前広場は整備されておらず、他の公共交通機関との接続はなく、交通結節機能が極めて低い。
 - 駅周辺には、駅の南側に主要な施設として製鉄記念広畑病院（改編予定）、商業施設、公園等が分布しており、特別養護老人ホームなどの福祉施設が建設予定である。
 - 駅南側は、製鉄記念広畑病院の県立姫路循環器病センターとの統合再編に伴い「医療・介護ゾーン」として再整備が予定されている。
- 【バリアフリーから見た主な現況及び計画と課題】**
- ① 鉄道駅
- 駅舎は地上駅であり、改札口は北側の1ヶ所のみで、南北の移動は改札内通路に並行する自由通路での移動となるが、通路幅が約100cmと狭いことから車いす通行時の相互通行が課題となっている。
 - 改札内通路の幅員は約180cmとやや狭いことから、両側改札化も含めた南北通路の改良が課題となっている。
 - 改札口は1ヶ所のみで、巡回駅（無人駅）となっていることから、周辺案内情報提供の充実が課題となる。カメラ付きインターホンでの対応がなされている。
 - ホームへの移動は階段のみとなっており、エレベータ設置が課題である。
 - 階段は勾配がやや急で、手すりが1段となっており、2段手すりの設置など障害者、高齢者等の利用しやすい整備が課題である。
 - 一般トイレは入口が狭く、また車いす利用者等が使用できるバリアフリートイレの整備が課題である。
- ② 道路（病院周辺計画道路）
- 駅から病院等にアクセスする経路には、十分な幅員の連続した歩道が整備される予定である。
 - 駅から病院等にアクセスする経路には、視覚障害者誘導用ブロックの敷設が必要である。
 - 駅前広場には道路照明灯を設置するなど、十分な照度を確保することが課題である。

山陽電鉄夢前川駅周辺地区【現況図】



凡例

- 官公庁等
- 教育・文化施設
- 保健・医療・福祉施設
- 商業施設
- 公園・運動施設
- 駅前広場
- 重点整備地区（案）
- 区画整理事業区域
- 都市計画道路
- 生活関連経路（候補）

